

科目名	課題研究		単位数	3 単位
学科名	アグリデザイン科 (アグリコース)	学 年	3学年	予定時数 105
1 学習目標	学習した知識や技術の深化・統合化を図り、課題解決に取り組む資質・能力の向上を目指す。			
2 指導の重点	<p>①主体的に課題を設定して計画を立て、課題を解決することにより、自発的・創造的な態度を育て、問題解決能力を養う。</p> <p>②一連の学習活動を通して、成就感や達成感を育て、将来の職業に対する意欲を高める。</p>			
3 学習内容				
【1学期】	<p>1 課題設定と計画の立案</p> <p>(1) 課題の設定 (2) 年間計画表の作成</p> <p>2 準 備</p> <p>(1) 必要な物の準備 (2) 試験作物の栽培管理</p> <p>3 予備実験</p> <p>(1) 試験内容における予備実験の実施</p>			
【2学期】	<p>4 課題の実施・記録</p> <p>(1) 日誌、記録簿等の作成 (2) テーマに沿っての実施と検証 (3) 自己評価</p> <p>(4) 調査項目、記録、計画の見直し</p> <p>5 調査のまとめ</p> <p>(1) 調査のまとめ (2) 統計処理</p>			
【3学期】	<p>6 報告書の作成</p> <p>(1) 報告書の作成</p> <p>7 発表会の準備</p> <p>(1) 発表方法に沿った準備</p> <p>8 発表会</p> <p>(1) 発表会 (2) 自己評価 (3) 相互評価 (4) 集録の作成</p>			
教科書	作物 (実教出版)、農業経営、農業機械 (実教出版)			
副教材				

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	20%
実施計画書	◎	○	○	15%
レポート(報告書)	◎	◎	○	25%
研究発表	○	◎	○	35%
自己評価		○	◎	5%
評価の重点	選択した学習領域に関する課題の解決策を探究し、その成果について発表ができたか。			

科目名	総合実習		単位数	3 単位
学科名	アグリデザイン科 (アグリコース)	学 年	3 学年	予定時数 105
1 学習目標	作物の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や栽培に適した環境を理解し高品質化を図るとともに、農業機械を有効に活用し生産性の向上を図る能力と態度を育てる。			
2 指導の重点	①作物栽培の知識および技能の基礎・基本の充実を目指す。 ②作物栽培に対する意欲を高めることを目指す。 ③農業機械を利用した生産性の向上について学ぶ。			
3 学習内容				
【1学期】	1 作物の栽培管理 (1) 作物の種類・品種について (2) 圃場管理 (3) 栽培管理 ①播種・育苗 ②移植 ③水管理・生育管理 (4) 病害虫防除 (5) 除草 2 学校農業クラブ活動 (意見研究発表会、農業鑑定競技会) 3 農業機械に利用と機械技術 (1) 管理機の利用 (2) ガス溶接			
【2学期】	1 作物の栽培管理 (続き) (6) 生育管理 ①水管理 ②病害虫対策 ③除草管理 など (7) 鳥害対策 (8) 台風対策 (9) 収穫前管理 (10) 収穫、販売 ①収穫適期判断 ②品質・食味調査 ③販売準備 ④販売 ⑤貯蔵 ⑥機械の利用 4 土壤管理と施肥 (1) 施肥			
【3学期】	5 作物の利用 (1) 食味調査 (2) 副産物の利用 など 6 生育管理のまとめ			
教科書	作物 (実教出版)			
副教材				

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	○	20%
実験・実習 (実技)	○	○	○	30%
レポート、ノート	○	○	○	20%
テスト	○	○		25%
自己評価		○	○	5%
評価の重点	作物の栽培及び機械利用に必要な実践力を身につけているか。			

科目名	作物	単位数	2単位		
学科名	アグリデザイン科（アグリコース）	学年	3学年	予定時数	70
1 学習目標	作物の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。				
2 指導の重点	<p>生徒の能力、意欲、関心が多様であることから</p> <p>①作物栽培の知識および技能の基礎・基本の充実を目指す。</p> <p>②実際の栽培活動を通して興味を引き出し、作物栽培及び経営に対する意欲を高めることを目指す。</p>				
3 学習内容					
【1学期】	<p>1 作物生産の役割と動向</p> <p>2 作物の特性と栽培技術</p> <p>(1) 作物の種類と特徴 (2) 作物の生育と生理 (3) 栽培環境と生育の調整</p> <p>3 イネの栽培</p> <p>(1) 栽培的特性 ①栽培の現状と特性 ②生育のすがた ③生育と環境要因 ④品種</p> <p>(2) 栽培管理 ①栽培管理 ②育苗管理と移植 ③水管理</p>				
【2学期】	<p>⑥収穫と調整 ⑦生育と収量診断 ⑧品質と高価値化</p> <p>(3) 品種比較試験</p> <p>長野県奨励品種の生育・収量試験</p> <p>4 アズキ栽培</p> <p>(1) 栽培特性 (2) 栽培管理 (3) 経営の特性と利用</p> <p>5 イモ類の栽培</p> <p>(1) 栽培特性 (2) 栽培管理 (3) 経営の特性と利用</p> <p>6 ムギの栽培</p> <p>(1) 栽培特性 (2) 栽培管理 (3) 経営の特性と利用</p>				
【3学期】	<p>6 栽培環境と生育の調整</p> <p>7 作物の利用（食味調査・副産物利用等）</p>				
教科書	作物（実教出版）				
副教材					

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	10%
実験・実習	○	◎	○	20%
テスト	◎	○		50%
レポート	○	◎	○	15%
自己評価		○	◎	5%
評価の重点	作物の生産技術や経営に関心と意欲を持って取り組んでいるか。			

科目名	生物活用		単位数	2 単位						
学科名	アグリデザイン科 (アグリコース)	学 年	3学年	予定時数	70					
1 学習目標	農業の見方・考え方を働きかせ、税縛線的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物や社会動物活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。									
2 指導の重点										
生物の特性を活用することで、生活の質の向上につながることを、事例を通して理解できるように指導する。また、プロジェクト活動では実験・実習を通して科学的かつ創造的に学習をすすめ、生物活用に関する実践力が身に付くようとする。										
3 学習内容										
【1学期】	1 生物活用の意義と役割 (1) 生物活用とは何か (2) 生物活用の大切さ (3) 私たちの暮らしと生物活用 2 生物活用とプロジェクト学習 (1) プロジェクト学習とは (2) プロジェクトの進め方 (3) 生物活用におけるプロジェクト学習 作物の栽培・圃場管理				22時間					
【2学期】	3 園芸作物の栽培と活用 (1) 私たちの暮らしと園芸 (2) 植物・園芸がもたらす効用 (3) 植物・園芸の活用 (4) 植物を扱う際の留意点 4 野菜・ハーブの栽培と活用 (1) 野菜の種類と特性 (2) 野菜の栽培 (3) 野菜の加工・利用 (4) キッチンガーデン 作物の栽培・圃場管理				36時間					
【3学期】	5 生物を活用した療法 (1) 生物を活用した療法とは (2) 植物を治療に活用する (3) 園芸療法とは (4) プログラムを考える				12時間					
教科書	生物活用 (実教出版)									
副教材										

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	10%
学習成果物	○	◎	○	25%
テスト	◎	○		50%
レポート	○	◎	○	10%
自己評価		○	◎	5%
評価の重視	社会参加や地域づくりに感心を持ち、取り組んでいるか。			

科目名	総合実習	単位数	4 単位															
学科名	アグリデザイン科（アグリコース）	学 年	2 学年															
1 学習目標	作物の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物栽培の特性や栽培に適した環境について理解させる。農業機械を安全に利用する方法を理解させるとともに、作業能率効率化と品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。																	
2 指導の重点	1 作物栽培の知識および技能の基礎・基本の充実を目指す。 2 農業機械の安全な使用方法を理解し利用した栽培活動を通して興味を引き出し、作物栽培に対する意欲を高めることを目指す。 3 機械系資格取得を目指し関連する分野についての知識、技能を身に着けることで、社会的な視野を広めることを目指す。																	
3 学習内容	<table border="1"> <tr> <td>【1学期】</td> <td> 1 トウモロコシの栽培 (1) 栽培計画 (2) 試験研究計画 (3) 栽培管理と収穫 2 機械化作業の安全 (1) 安全の基本事項 (2) 安全装置 (3) 機械整備 (4) 管理機、刈り払い機の安全作業 意見研究発表会、農業鑑定競技会など </td> <td>40時間</td> </tr> <tr> <td>【2学期】</td> <td> 3 資格取得 小型建機 アーク溶接 4 収穫、試験研究のまとめ 5 乗用トラクタ (1) 作業機の連結利用装置 (2) 耕起作業 6 ソバの栽培と利用 </td> <td>60時間</td> </tr> <tr> <td>【3学期】</td> <td> 7 経営診断 (1) 経営上の特性 8 機械整備と安全管理 </td> <td>40時間</td> </tr> <tr> <td>教科書</td> <td>作物（実教出版）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副教材</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			【1学期】	1 トウモロコシの栽培 (1) 栽培計画 (2) 試験研究計画 (3) 栽培管理と収穫 2 機械化作業の安全 (1) 安全の基本事項 (2) 安全装置 (3) 機械整備 (4) 管理機、刈り払い機の安全作業 意見研究発表会、農業鑑定競技会など	40時間	【2学期】	3 資格取得 小型建機 アーク溶接 4 収穫、試験研究のまとめ 5 乗用トラクタ (1) 作業機の連結利用装置 (2) 耕起作業 6 ソバの栽培と利用	60時間	【3学期】	7 経営診断 (1) 経営上の特性 8 機械整備と安全管理	40時間	教科書	作物（実教出版）		副教材		
【1学期】	1 トウモロコシの栽培 (1) 栽培計画 (2) 試験研究計画 (3) 栽培管理と収穫 2 機械化作業の安全 (1) 安全の基本事項 (2) 安全装置 (3) 機械整備 (4) 管理機、刈り払い機の安全作業 意見研究発表会、農業鑑定競技会など	40時間																
【2学期】	3 資格取得 小型建機 アーク溶接 4 収穫、試験研究のまとめ 5 乗用トラクタ (1) 作業機の連結利用装置 (2) 耕起作業 6 ソバの栽培と利用	60時間																
【3学期】	7 経営診断 (1) 経営上の特性 8 機械整備と安全管理	40時間																
教科書	作物（実教出版）																	
副教材																		

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	10%
実験・実習（実技）	◎	◎	○	20%
レポート、ノート	○	◎	○	20%
テスト	◎	○		45%
自己評価		○	◎	5%
評価の重点	作物の栽培及び機械利用に必要な実践力を身につけているか。			

科目名	農業機械		単位数	2 単位
学科名	アグリデザイン科 (アグリコース)	学 年	2 学年	予定時数 70
1 学習目標	農業機械の取り扱いと維持管理に必要な知識と技術を習得させ、機械の構造と作業場の特性を理解させるとともに、農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てる。			
2 指導の重点	農業機械の体験的な学習を通じて、実践的な知識を習得させ、圃場管理について理解を深める。			
3 学習内容				
【1学期】	1 農業機械の役割 (1) 農業機械化の意義 (2) 農業機械の利用とその現状 2 農業機械の整備と保守 (資格取得) (1) アーク溶接 (2) 小型車両系建設機械			
【2学期】	3 トラクタ (1) 種類 (2) 基本運転と操作 (3) 作業の安全確保 (4) 機能と構造および性能 4 作業機 (1) 種類と特徴 5 原動機 (内燃機関) (1) 種類 (2) 作動原理と構造 (3) 燃料と潤滑油			
【3学期】	6 農業機械と安全 (1) 農業機械の整備 (おもな整備用用具・測定用工具) (2) 農作業による事故と健康被害 7 農業機械による自動化 (1) 作業工程の自動化 (2) 農業機械の高度化			
教科書	農業機械 (実教出版)			
副教材				

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	10%
実験・実習	○	◎	○	10%
テスト	◎	○		60%
レポート	○	◎	○	15%
自己評価		○	◎	5%
評価の重点	農業機械に関する知識と安全な利用について理解したか。			

科目名	食品流通		単位数	2 単位
学科名	アグリデザイン科アグリコース	学 年	2学年	予定時数 70
1 学習目標				
農産物や農産物を原料とする食品の流通とマーケティングに必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通の管理の合理化とマーケティングを経営発展につなげる能力と態度を養う。				
2 指導の重点				
農作物や食品の流通に必要な知識と技術を習得させる、また、流通構造とマーケティングの果たす社会的な意義を理解させる。				
3 学習内容				
【1学期】	1 現代生活と食品流通 (1) 流通の始まりと発展 (2) 流通の働き (3) 食品流通の役割 2 経済活動と食料 (1) 経済発展と食料消費 (2) 世界の食糧事情 (3) 日本の食生活と食糧需給			22時間
【2学期】	3 食品流通のしくみと働き (1) 食品流通の特徴 (2) 食品流通のしくみ (3) 価格形成と流通経費 4 おもな食品の流通 (1) 米の流通 (2) 麦の流通 (3) 青果物の流通 (4) 畜産物の流通 (5) 加工食品の流通 (6) 農産物の輸出入			36時間
【3学期】	5 食品の品質と規格 (1) 食品の品質と安全性 (2) 品質と品質保証 (3) 規格、表示と検査 6 食品マーケティング (1) 食品市場の調査 (2) マーケティングの意味と発展 (3) マーケティング戦略の手法 (4) 食品マーケティングの実際			12時間
教科書	食品流通（実教出版）			
副教材				

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢			◎	10%
ノート	○	○	○	10%
学習成果物		◎	○	25%
テスト	◎	○		50%
自己評価	○	○	◎	5%
評価の重点	農産物の流通とマーケティングについて理解しようとしているか。			

科目名	農業経営		単位数	2 単位	
学科名	アグリデザイン科 (アグリコース)	学 年	2 学年	予定時数	70
1 学習目標	農業経営について体系的・系統的に理解するとともに農業や農業関連産業の抱える課題を理解し、経営発展について考える能力と態度を育てる。				
2 指導の重点	日本と世界の農業経営の形態と問題について理解し農業経営とマーケティングに関する基本的な内容について理解する。経営分析に必要な簿記に関する基本的な知識を身につける。				
3 学習内容					
【1学期】	1 農業の動向と農業経営 (1) 日本と世界の農業 (2) 農業・農村と食料・環境 (3) 今日の農業経営 2 農業経営の組織と運営 (1) 農業経営の主体と目標 (2) 農業生産の要素 (3) 農業経営の集団的取組み 3 農業経営の会計 (1) 簿記とは (2) 貸借対照表 (3) 損益計算書				22時間
【2学期】	(4) 取引と勘定 (5) 仕訳と転記 (6) 仕訳帳と総勘定元帳 (7) 試算表 (8) 精算表 (9) 決算 4 農業経営と情報 (1) 農業経営を取り巻く環境 (2) 農業経営と情報の収集・活用 (3) 農業のマーケティング				36時間
【3学期】	5 農業経営の診断と設計 (1) 農業経営の診断 (2) 農業経営の設計				12時間
教科書	農業経営 (実教出版)				
副教材					

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢		○	◎	10%
実験・実習		◎	○	10%
テスト	◎	○		60%
レポート	○	◎	○	15%
自己評価	○	○	◎	5%
評価の重視	農業の動向と経営について考えを深めることができているか。			